

第2学年 国語科学習指導案

平成29年11月1日 2時間目

場所 2年教室

指導者 担任 司書教諭 学校司書

1 単元名 どうぶつのひみつをしらべよう

教材名「ビーバーの大工事」(東京書籍 2年下)

2 単元の目標

- 動物について書かれた本を進んで読み、調べようとする。(国語への関心・意欲・態度)
- 書かれていることの順序に気をつけて、大事な言葉や文を見つけながら、内容を読み取る。(読む能力(1)イエカ)
- 「は」「へ」「を」の助詞を正しく使ってクイズを書く。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(エ))

3 本単元でつきたい情報活用能力

I 課題設定・学習計画

ア 調べたいことの発見 イ 調べたいことの決定

II 情報の収集

ヤ 抜き書きの仕方

III 情報の整理・まとめ

エ 様々なまとめ方の経験

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む力	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
・ビーバーやほかの動物に関心を持ち、進んで教材文を読んだり、本で調べたりしようとしている。	・ビーバーのダム作りや巣作りの様子を、順序に気をつけて読み取っている。(1)イ ・知りたいことに関係のある大事な言葉や文を見つけながら、教材文や本を読んでいる。 (1)エ ・クイズを作るために、動物の生態について書かれている本を選んで読んでいる。(1)カ	・「は」「へ」「を」の助詞を正しく使ってクイズを書いている。イ(エ)

5 単元設定の理由

(児童については省略)

○本単元は、1年生「いろいろなふね」の「書かれていることを事柄ごとに正しく読み取り、他の本を読んで調べたことをまとめる」学習、また、2年上「たんぼぼ」の「順序に気をつけて、書かれていることの大体を読み取る」学習につながるものである。

教材文「ビーバーの大工事」は、ビーバーの巣作りについて、〈木を切りたおすビーバー〉〈ダムを作るビーバー〉〈すを作るビーバー〉の三つのまとまりによって説明している。それぞれのまとまりは、ビーバーの工事の様子を順序よく説明してあり、順序に気をつけて正しく読み取っていく学習に適している。

児童にとって、ビーバーは、名前は知っていてもその生態を詳しく知っているとは言えない動物である。教材文の重要語句や表現に着目し、気をつけて読むことによって、ビーバーの行動や体の仕組み等を詳しく知ることができる。大事な言葉や文を見つける学習に適した教材である。

本単元では、教材文で、また、動物について書かれた図書で、動物のひみつを見つけ、クイズにして伝え合う活動を行う。ひみつを見つけ、クイズにして伝え合うという目的をもつことで、興味・関心を持って、大事な言葉を落とさず読み取る学習に取り組むことができると思われる。そして、もっと知りたい、もっと他の動物のことも調べてみたい、などの意欲喚起にもつながるものと考えられる。

科学読み物にも興味・関心の高い本学級の児童にとって、動物について書かれた図書を読むことを通し、知的好奇心を満たす喜びを感じながら、学習を進めることができる。そして、多くの情報の中から、必要な情報を選択し、書き抜く力をつけていくのにもふさわしい単元と言える。

○本単元の指導に当たって、以下の点を大事にしていく。

①単元の見通しをもたせる。

本単元の最後に動物のひみつクイズ大会をするということを、学習の初めに知らせる。学習に対する意欲を喚起し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにするためである。

また、学校司書と協力し、動物について書かれている図書を学習のスタートから準備し並行読書を充実させ、動物クイズに対する見通しをもたせる。準備する図書には図鑑も取り入れる。その際、索引の使い方を、司書教諭と協力し時間をとって指導したい。

②ワークシート等の工夫

書かれていることを順序よく読み取ったり、大事な言葉を落とさず抜き書きしたりする力をつけるために、ワークシートを活用したい。目標を明確にしたワークシートを使用し、ビーバーのひみつを調べる際だけでなく、自分で選んだ動物のひみつクイズを作る際にも使用したい。

また、教材文には、難しい言葉が多数書かれているので、「大切な言葉に線をひく」「教材文中の写真を活用する」「動作化する」等の方法で、書かれている内容を正しく読み取らせたい。

③ひみつクイズ作りへの支援

動物のひみつをクイズの形にしたり解答したりという言語活動では、手順を順序よく示したり、クイズの文型を例示したり等の支援を行いたい。また、教材文でのクイズ作りの後、同一資料でのクイズ作りをし、見つけたひみつをクイズにしたり、答えを考えたりする練習をさせる。

クイズを作るための本は、内容理解のため、学校でも家庭でも繰り返し読ませる。

本時は、自分で選んだ図書からクイズを作っていく。前時までには書き抜いておいた文章から、クイズを作っていくが、教材文や同一資料で学習した、「選んだ文章からクイズを作る方法」を思い出させてから取り組ませたい。

6 単元の指導計画と評価規準（全 18 時間）

次	時	おもな学習活動	評価規準	学校図書館の活用
第 1 次	1 2	<p>○学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーバーについて知っていることを話し合う。 ・いろいろな動物について調べ、ひみつを見つけてクイズを作り、友だちと出し合う学習をすることを確認する。 ・動物について書かれた本を紹介してもらう。 ・教材文を通読し、学習の流れを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーバーやほかの動物に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 <p>（関心・意欲・態度）</p> <p><発言・観察></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の紹介（司書） ・並行読書開始（第3次まで）
第 2 次	3 9	<p>○順序に気をつけて、大事な言葉を見つけながら、「ビーバーの大工事」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木を切りたおすビーバー 歯で木を切り倒す様子や尾をつかって泳ぐ様子などを読み取る。 初めて知ったことや驚いたことなどから、クイズを作る。 ・ダムを作るビーバー 木と石とどろでダムを作る様子などを順序よく読み取る。 初めて知ったことや驚いたことなどから、クイズを作る。 ・すを作るビーバー 巣を作るわけなどを読み取る。 初めて知ったことや驚いたことなどから、クイズを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・順序に気をつけて、ビーバーがダムや巣を作る様子を読み取っている。 <p>（読む（1）イ）</p> <p><ワークシート・発言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉を探しながら、知りたいことを見つけている。 <p>（読む（1）エ）</p> <p><ワークシート・発言></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉や文の抜き書き
第 3 次	10 18	<p>○動物について書かれた図書を調べ、動物のひみつクイズを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一資料でクイズの作り方や答え方を学ぶ。 ・自分が選んだ図書から、動物の体についてのクイズや動物の習性についてのクイズを作る。（本時 13/18） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひみつクイズを作るために、図書を選んで読んでいる。 <p>（読む（1）カ）</p> <p><行動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「は」「へ」「を」の助詞を正しく使ってクイズを書いている。（伝統 イ（エ）） 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことの発見 ・調べたいことの決定 ・様々なまとめ方の経験

	<p>○クイズ大会をする。</p> <p>・図書からクイズの答えを探し、大事な言葉を書き抜く。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p><ワークシート></p>	
--	---	-----------------------	--

※ 図鑑の利用：索引を使って調べよう。（1時間）

7 本時の学習

(1) ねらい 動物の本の中から見つけたひみつをクイズにしたり、答えを書いたりすることができる。
(読むこと)

(2) 展開

時間	学 習 活 動	教師の支援 (☆) と評価 (◎)
0	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本を読んで見つけたどうぶつのひみつから、クイズや答えを作ろう。</p> </div>	<p>☆学習の見通しを持たせる。</p>
2	<p>2 ひみつからクイズを作る方法を思い出し、大事な言葉に線を引く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①一文書き抜く。 ②大事な言葉に線を引く。</p> </div>	<p>☆教材文や同一資料からクイズ作りをした時のことを想起させ、方法を確認する。 ☆自分が見つけたひみつが、大事な言葉であることを確認する。</p>
5	<p>3 クイズを作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③大事な言葉が答えになるようなクイズを作る。</p> </div>	<p>☆大事な言葉を「なぜ、どのように、いつ」などの言葉に代えてクイズを作ることを確認する。 ☆どんな言葉を使って問題を作っているか分かりにくい児童には、いつ、なぜ、いくつ、どこで、なにを、などの言葉をつけることを再度伝え、一緒に考える。 ◎大事な言葉に気をつけながらクイズを作っている。(ワークシート)</p>
20	<p>4 クイズの答えを作る方法を思い出す。 ・いらぬ所をけずったり、言葉を足したりしながら答えを作る。</p>	<p>☆教材文や同一資料から答え作りをした時のことを想起させ、方法を確認する。 ☆線を引いた大事な言葉が答えになることを確認する。</p>
22	<p>5 クイズの答えを作る。</p>	<p>☆大事な言葉が答えになっているかどうかを確認させる。 ◎大事な言葉に気をつけながら、クイズの答え</p>

35	6 作ったクイズをみんなに紹介する。	<p>を作っている。(ワークシート)</p> <p>☆早く終わったら、2 問目のクイズや答えを作るよう指示する。</p> <p>☆作ったクイズを紹介し、クイズ大会への意欲を喚起する。</p>
40	7 今日の学習の振り返りをする。	<p>☆ワークシートでの振り返りをさせる。</p> <p>☆クイズを作った感想を発表させる。</p>

(3) 本時の評価

十分満足とされる児童の姿	おおむね満足とされる児童の姿	支援を要する児童への具体的な支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大事な言葉を落とさず見つけて線を引き、そこが答えとなるような問題文を作っている。 ・ 大事な言葉を落とさずに、また、足りない所をけずったり、言葉を足したりしながら答えを書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大事な言葉を見つけて線を引き、そこが答えとなるような問題文を作っている。 ・ 大事な言葉を落とさずに、答えを書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大事な言葉を一緒に探す。 ・ 問題を作る時に使う言葉（どのように、いくつ、など）を思い出させる。 ・ 線を引いた言葉が大事な言葉であると、確認しながら一緒に作る。

(4) 研究の視点

○教材文と同じ形式のワークシートを使用したことは、大事な言葉を意識したクイズ作りに有効であったか。

○クイズや答えを作る手順を掲示したり、スモールステップで指導したことは、大事な言葉を探し、抜き書きするのに有効であったか。

○自分が選んだ図書からクイズ作りをしたことは、児童の主体的な学びに有効であったか。